

株式会社レダックス

2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

2024年11月13日

東証スタンダード:7602



1. 2025年3月期 第2四半期決算の状況

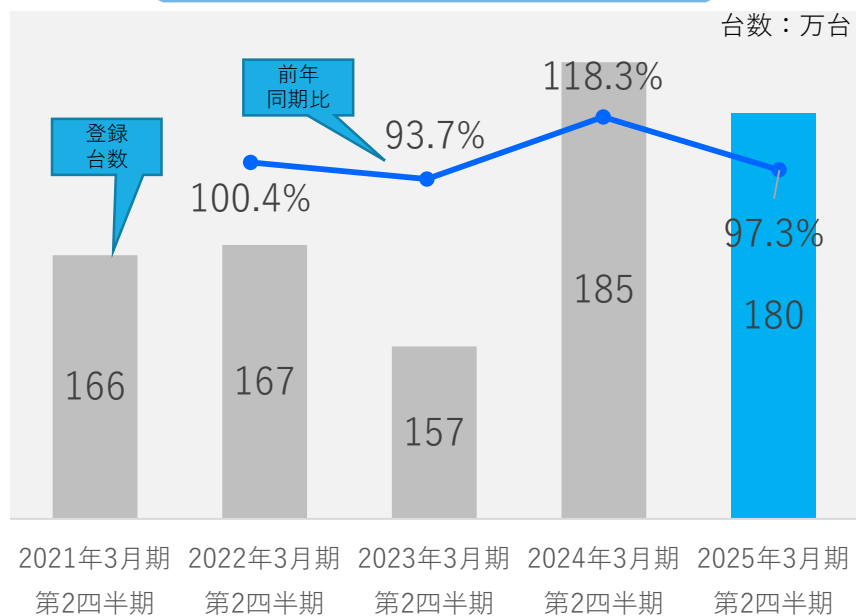
- ① 国内中古車市場の状況
- ② 第2四半期連結損益計算書
- ③ 第2四半期連結貸借対照表
- ④ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ⑤ 営業展開の状況

2. 2025年3月期 通期連結業績予想

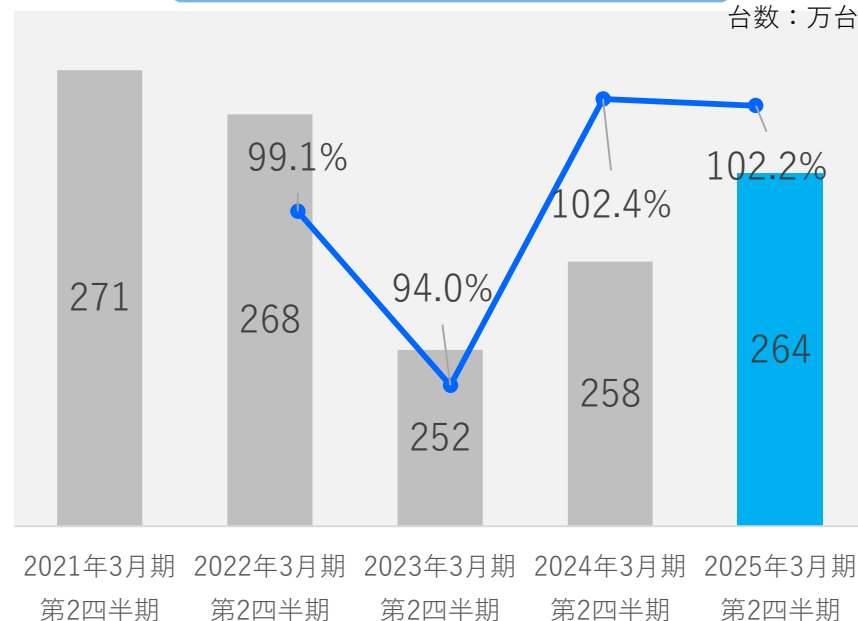
1. 2025年3月期 第2四半期決算の状況

◆ 2024年4月～2024年9月の期間の新車登録台数（軽自動車含む）は約180万台（前年同期比2.7%減）となりました。また、中古車登録台数（軽自動車含む）は約264万台（前年同期比2.2%増）となりました。

新車登録台数



中古車登録台数



出展：一般社団法人日本自動車販売協会連合会
一般社団法人全国軽自動車協会連合会

2025年3月期 第2四半期の状況

② 第2四半期連結損益計算書(連結PL)

- ◆ 当2025年3月期第2四半期は前年同期と比較し、増収減益となりました。前期と比較し、仕入価格の上昇の影響を受けて売上総利益が減少しました。

■ 2025年3月期 第2四半期 連結損益計算書

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年差異	2025年3月期	進捗率
			増減	通期予算	
売上高	8,808	9,759	+ 951	20,000	48.7%
売上総利益	1,532	1,447	- 85	—	—
販管費	1,512	1,516	+ 4	—	—
営業利益	20	△69	- 89	275	—
経常利益	91	△29	- 120	—	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	37	△47	- 84	190	—
粗利率	17.4%	14.8%	- 2.6%		

2025年3月期第2四半期の状況

③ 第2四半期連結貸借対照表(連結BS)

- ◆ 総資産は8,185百万円となり、主な要因は商品の増加1,139百万円、現金及び預金の減少612百万円及び売掛金の増加331百万円などによるものであります。商品の増加要因は子会社であるアガスタの車両が国際情勢の影響を受け、一部輸出が停滞している状況ですが一過性のものであります。カーチスにおいては長期在庫の比率は改善しております。
- ◆ 負債合計は3,202百万円となり、主な要因は契約負債の増加766百万円及び買掛金の増加232百万円などによるものであります。
- ◆ 純資産は4,982百万円となり、利益剰余金の減少68百万円及び非支配株主持分の増加13百万円などによるものであります。

■ 2025年3月期第2四半期 連結貸借対照表

単位：百万円

		2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期	前年差異
				増減
	流動資産	5,765	6,753	+988
	固定資産	1,492	1,431	-61
資産合計		7,257	8,185	+928
	流動負債	1,983	2,997	+1,014
	固定負債	239	205	-34
負債合計		2,223	3,202	+979
純資産合計		5,034	4,982	-52
負債・純資産合計		7,257	8,185	+928
自己資本比率		66.3%	58.0%	-8.3%

2025年3月期 第2四半期の状況

④第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業活動の結果使用した資金は831百万円となり、棚卸資産の増加額1,160百万円、契約負債の増加額1,323百万円及び売上債権の増加額887百万円などによるものであります。
- ◆ 投資活動の結果使用した資金は77百万円となり、定期預金の純増額111百万円及び有形固定資産の売却による収入43百万円などによるものであります。
- ◆ 財務活動の結果獲得した資金は112百万円となり、短期借入金の純増額149百万円及び配当金の支払額20百万円などによるものであります。
- ◆ 現金及び現金同等物の残高は1,597百万円となりました。

■2025年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年差異
			増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	△831	-1,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150	△77	+73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163	112	+275
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,162	1,597	-565

1.国内事業

- ◆ 保証・車検等のサービス商品の改良とカーチスアプリを開発・導入し顧客サービスの向上を図っております。
- ◆ 既納客へのアプローチを増やしたことにより、納車後も継続的な関係性を構築し、既納客との取引を増やしております。
- ◆ 高糖度フルーツミニトマトの生産販売等農業ビジネスを行う株式会社OSMICの完全親会社である株式会社OSMICホールディングスの株式の一部を純投資の目的で取得しました。
- ◆ 金融投資事業部を設立し人材の強化を図っております。

2.海外事業

- ◆ 新たな輸出先を開拓し販路の拡大を進めております。
- ◆ ウガンダの首都カンパラにおいてオフィスを開設し、現地エージェントとの業務提携の締結を行いました。今後チャド、コンゴ、南スーダンなど周辺諸国での事業展開を進めてまいります。（2024年9月9日公表）

3.リースバック関連事業

- ◆ M&Aアドバイザー事業としてアドバイザー契約当事者間のM&Aを株式譲渡により成立させております。

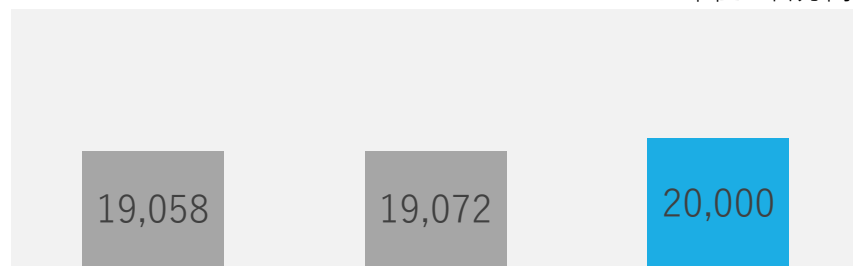
2. 2025年3月期 通期連結業績予想

2025年3月期 通期業績予想

■売上高

通期**20,000**百万円
(前年同期比4.9%増)

単位：百万円



2023年3月期

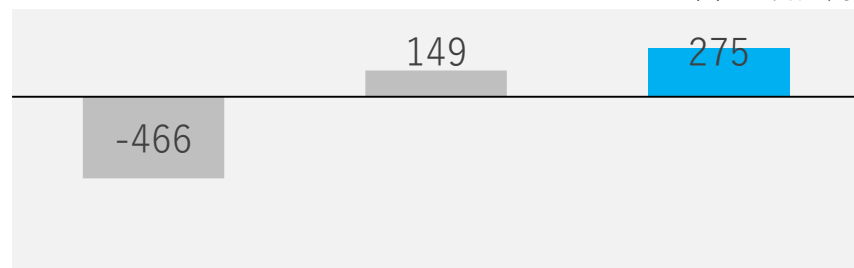
2024年3月期

2025年3月期(予想)

■経常利益

通期**275**百万円
(前年同期比126百万円増)

単位：百万円



2023年3月期

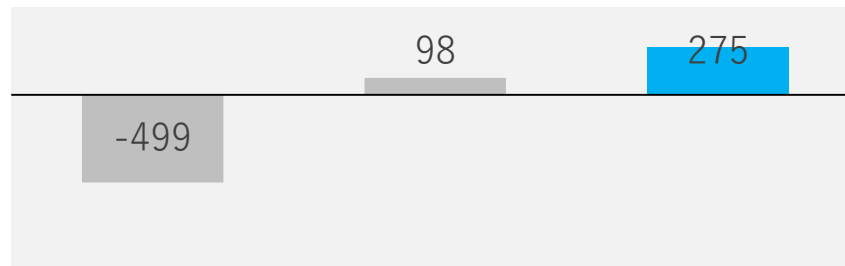
2024年3月期

2025年3月期(予想)

■営業利益

通期**275**百万円
(前年同期比177百万円増)

単位：百万円



2023年3月期

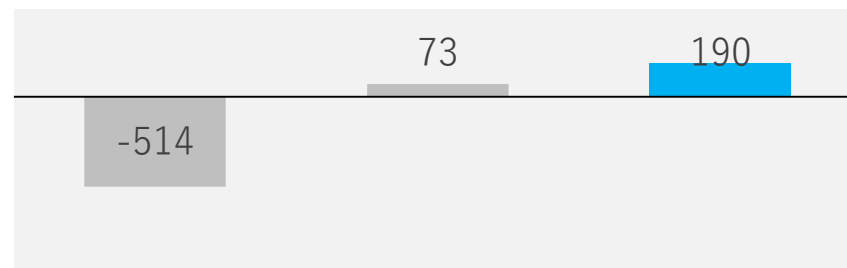
2024年3月期

2025年3月期(予想)

■親会社株主に帰属する当期純利益

通期**190**百万円
(前年同期比117百万円増)

単位：百万円



2023年3月期

2024年3月期

2025年3月期(予想)

免責事項

本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。

当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

当社は、本資料の利用または付随して生じたいかなる損害も、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。